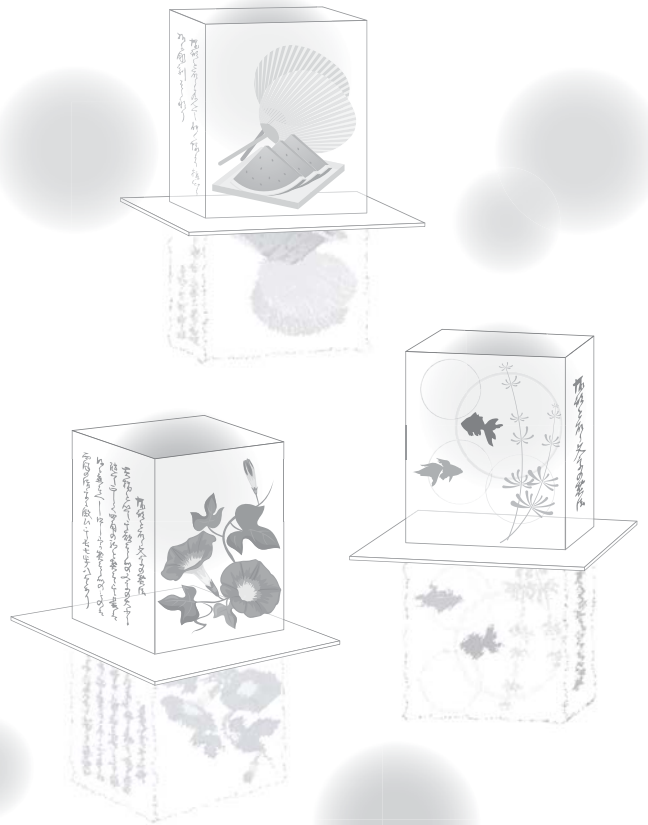


お客様への メッセージ

2013 8 月号

Contents

- ◎ 長期投資仲間へのメッセージ vol.77
『日本を捲土重来に導く長期投資マネー』
セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野晴啓
- ◎ ゲストからの応援メッセージ
『社会病理学を目指して』
福岡大学 経済学部教授 阿比留正弘氏
- ◎ セミナー・イベント情報
・『不安を生き抜く! そうだ、投資をはじめよう』
—「現場発国際経済の見方」を学び、グローバルな
視野で投資について考えよう!【in 渋谷】
・直前スペシャル! セゾン投信のNISA セミナー(活用編)
・ここが肝心! 「セゾン投信のファンド講座」スタートアップ編
- ◎ セゾン投信からのお知らせ
・新刊書籍のご紹介
・NISA(ニーサ)に関する「よくある質問」
・メディア掲載情報
・買付・解約 受付不可日お知らせ
- ◎ お客様データ
・口座数 & 年代別構成比
- ◎ セゾン投信の素顔
メンバーが感じる日々の雑感



発行 セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
お問合せ先 セゾン投信お客様窓口 ☎03-3988-8668(受付時間9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)
<http://www.saison-am.co.jp>

■この資料は、セゾン投信の役員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のみのもとし、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



長期投資仲間へのメッセージ Vol.77

「日本を捲土重来に導く長期投資マネー」

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

短期筋が演出する乱高下

アベノミクスの期待に乗った上昇相場が始まってから半年の間に日経平均はざっと8割も右肩上がりで拡大を続けました。そして5月下旬から、それまでの上げを主導して来た海外短期投機筋の資金が一斉に利益確定の売りへと動いたことで、2割を超える急激な下げ相場へと豹変。アベノミクスブームで慌てて乗り込んだ俄か投資家が、市場の急変に翻弄されて相場から飛び降りてしまう実例があまり見られました。

米国の金融緩和の出口戦略への警戒感が世界の株式市場に波及して、グローバルに金融市場の乱高下が起こっていましたが、米国市場から実体経済の堅調さに対する冷静な評価が荒い値動きを鎮静させ、気付けば米株式は最高値圏で安定を取り戻しています。

長期投資マネー不在の悲劇

一方日本では、売り一巡後再び株価は上昇基調を急速に取り戻したものの、短期筋マネー主導の展開は相変わらずで、仕掛けと手仕舞いの交錯で乱高下相場は続いています。

今回改めて浮き彫りになったのは、日本の市場に長期投資マネーが極端に少ないことから、投機筋がいつも容易に相場トレンドを誘導出来てしまう、構造的な脆弱さです。

20世紀高度成長期に積み上がった国内企業同士の持ち合い慣行が、その是非はさておき、底積みの長期マネーとしての役割を果たしていたことは確かであり、持ち合いがほぼ完全に解消してしまった現在の日本株市場においては、日本企業が長期安定資金の調達という本来の株式市場の存在意義に対し、大きな不安を抱えている状況でもあるのです。

日本の成長を担い支える長期投資マネーがどっしりと存在していれば、短期筋の売り仕掛けはしっかりと長期マネーの押し目買いに吸収されて、結果として相場の動きは抑制されます。米国市場の厚みとの彼我の差はそこに歴然とあるのです。

日米の違いとは？

その米国市場には厳然たる国内長期投資マネーが存在しています。スケールの大きな年金資金や大学財団など機関マネーのみならず、生活者のお金が投資信託などを通じて立派な長期投資マネーとして経済活動を支え、成長からリターンを積み上げています。

翻って日本では、そもそも個人金融資産の過半がゼロ金利の預貯金に滞留していて、株式と投信のそれに占める比率はたったの11%。米国の45%には遠く及ばず、ユーロ圏の22%と較べても半分に過ぎません。

しかも日本にある4千本を超える公募投資信託の平均保有期間はたったの2.1年で、おまけにその中身は毎月分配型全盛で、通貨選択型やらコールオプションを売却するものやと、およそ長期投資とは無関係の滑稽なる構造な仕組みファンドばかりです。

NISA をきっかけに

米国には燦然と輝く本格的長期投資ファンドがズラリと並んでおり、それらに資金供給する主役は生活者マネーです。その因果として、米国は長期にわたり安定した経済成長軌道が堅持され、同時に長期投資にしっかりと応える安定成長企業もあまた存在しているわけです。

世界中の投資マネーが米国市場に集まって来る所以でもあり、強欲資本主義の一面を持つ米国とは別次元の、真っ当な金融立国としての顔もアメリカは厳然と持っている。これが米国経済の底力の源泉でありましょう。

来年から日本では NISA 制度がスタートします。これによって預金から投資に数十兆円規模のシフトが起きるとも言われています。

制度自体は今のところ期間 5 年という制約があるなど本来の長期投資に最適とは言い難い半端ではありますが、生活者の預貯金 850 億円という日本経済の底力の糧となり得る莫大な資源を、冬眠から覚ます好機と捉えるべきでありましょう。

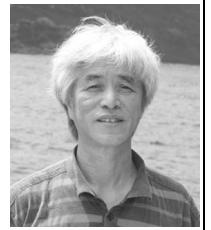
セゾン投信はこの未稼働資源を冬眠から啓蟄へと誘（いざな）う先導役たらんと、我が国の捲土重来を期しています。

(2013 年 8 月 1 日記)

ゲストからの応援メッセージ

「社会病理学を目指して」

福岡大学 経済学部
教授 阿比留 正弘氏



私は、現在福岡大学経済学部で、ベンチャー起業論という企業家育成の講座を 15 年前から運営しております。日本全国に同様の講座は、数多く開講されていますが、開始時期の早さと関連科目の多さでは多分、他の追従を許さないカリキュラムを有していると自負しております。最も古く、関連科目が 80 単位以上と徹底した講座を開講するきっかけは、私の学部時代の恩師の指導です。

私の恩師は青山学院大学におられた柴田敬先生です。先生は、ロンドンで、吉田茂の紹介でケインズと直接会っておられます。先生の恩師はマルクス主義者の河上肇とシュンペーターという誰でも知っている人です。同窓生の中にはノーベル経済学賞をとったサムエルソンなどもあります。このような歴史上の巨人とともに生きた柴田先生が考えていた経済学とは社会病理学 (Social Pathology) だということです。社会が抱える病気の原因と治療の処方箋を提示することが経済学の役割であると、ケインズ政策の不健全さを糾弾し、エネルギーの問題を予見し、潮流発電などの発明に一生を捧げられました (1986 年没)。

柴田先生と出会い、社会の病気を治す医者になりたいと経済学者を志しました。証券会社こそ、現実の経済の実態を正確に教えてくれる学びの場で有ると信じ、反対する恩師や友人の意見を聞かず、証券会社に就職しました。現実には私が考えていたほど、甘いところではありませんでした。お客様の利益と会社の利益が必ずしも一致するものではなく、ノルマを達成するために行動することがお客様の利益を損なう可能性があることを最もわかりやすく教えてくれたのが、投資信託の営業でした。学びの場として選択した現場は教育現場としてはあまりに厳しく、半年で撤退を決意しました。

私が直面した最初の挫折でした。その後、経済学者になるための標準的なコースをたどりまし。修士課程、博士課程を終え、海外の一流雑誌に投稿し、毎年ヨーロッパの学会で発表するなどしながら、福岡大学で講師、助教授、教授として平凡な経済学者として過ごして来まし。

転機が1999年にやって来まし。当時の通産省が「若者会社をつくろう」というシンポジウムを開催して、私が福岡大学のコーディネーターとして企業家育成のプログラムを実施まし。現在の企業家育成プログラムの原型がスタートしたのです。起業家育成のプログラムを実施して、気づいたことは、ビジネスプランを考えることと社会の病気を発見し、そのメカニズムを解明し、治療方法を考えることと同じことであるということです。このような考えに至ってからは、ベンチャー起業論を発展させ、できるだけ多くの人を巻き込むことが、柴田先生の弟子として私がやるべきことであり、私以外にはこの仕事はできないであろうと確信するようになりました。

このプログラムの中で中野さんをお呼びして学生に講義をしていただくことになりました。初めて中野さんにお会いした時には、私には投資信託に強い不信感がありました。しかし、中野さん達が進めている長期投資が、顧客の利益と対立するものでないことがわかりまし。むしろ、様々な社会の問題を解決する企業を応援する活動であり、私が柴田先生から教わった社会の病気を解明し、治療していく企業を探し、投資という形で応援するものであることで気づいたわけです。儲かるかどうかではなく、社会が困っている問題を探し、その解決方法を提案する企業を発掘し、実績を上げている企業を応援しているからです。

そういう意味で、中野さん達が薦めておられる活動はとても社会的な意義がある活動であります。正しいことをされているのですから、いつか社会からの支持がえられる日が来まし。長期投資と短期投資の比率が逆転する日も近いと思っておりますので、是非頑張ってください。

〈プロフィール〉

阿比留 正弘 (あびる まさひろ)

福岡大学経済学部 教授

昭和53年04月～昭和53年09月 新日本証券株式会社(現；みずほ証券)

昭和60年04月～昭和63年03月 福岡大学経済学部講師

昭和63年04月～平成05年03月 福岡大学経済学部助教授

平成05年04月～現在 福岡大学経済学部教授

平成07年09月30日 筑波大学博士(経済学)

NPO法人 ASIA (申請中) の副代表理事

<http://npo-asia.com/index.html>

セミナー・イベント情報

当社主催、共催セミナーのスケジュール <セミナーレベル ★:入門 ★★:初級 ★★★:中級>

【東京】池袋		ここが肝心!「セゾン投信のファンド講座」スタートアップ編		
★	8月8日(木) 19:00~20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60・37F)	参加費 無料	奥山 勉 (セゾン投信運用部アナリスト 日本証券アナリスト協会検定会員)
	「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」と「セゾン資産形成の達人ファンド」 当社のアナリストによる、2本のファンドのじっくり解説と質疑応答の1時間です。			
【東京】池袋		「ゼロからはじめる投資のキホン」～投資の初心者さん限定～		
★	8月22日(木) 19:00~20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60・37F)	参加費 無料	瀬下 哲雄 (セゾン投信運用部ポートフォリオマネージャー)
	毎回、人気のセミナーです。投資をはじめの前に知っておきたいポイントを凝縮してお伝えします。日頃なかなか聞けない基本的なこと等も含めて皆様からの質問にしっかりお応えいたします。			
【大阪】【名古屋】		「セゾン号」の長期投資入門 ～NISAスペシャル～		
★	【大阪】 8月24日(土) 14:00~16:30	淀屋橋サンスカイルーム 9階 9A	参加費 無料	満員御礼! 中野 晴啓 (セゾン投信社長)
	【名古屋】 8月25日(日) 9:30~11:45	家計の総合相談センター セミナースペース		
2014年から始まるNISA(少額投資非課税制度)について、当社ではお客様からのご要望ならびに、NISAはお客様の資産形成の取り組みに対し、メリットが期待できることから、長期投資を理念に掲げる直販会社として、対応することいたしました。 2013年10月より税務署にて受付がスタートしますが、その前に、押さえておきたい概要とポイント、また申し込み方法やお役立ち情報を解説いたします。				
【東京】渋谷		「現場発国際経済の見方」を学び、グローバルな視野で投資について考えよう! 『不安を生き抜く! そうだ、投資をはじめよう』		
★	9月1日(日) 14:30~16:45	TKP渋谷カンファレンス センター 5B	無料	豊島 逸夫氏(豊島逸夫事務所代表、元 ワールドゴールドカウンシル日本代表) 中野 晴啓(セゾン投信社長)
	国際経済の現場から海外レポートを発信し、日経電子版人気コラム“金のつぶやき”通称『金つぶ』でお馴染みの金投資の第一人者、豊島逸夫氏と、国際分散投資を提唱する中野の二人が、現場発、国際経済の見方を学び、グローバルな視野で投資について考える、がっちりダブルのセミナーを開催します。 2人はそれぞれ業界の慣習にとらわれることなく、独立系の立場からポジショントーク無しで、新しい投資のスタイルを模索し始めた日本経済のみならず、国際経済、マクロ経済動向について講演いたします。 さらに、講演後、講師2人による質疑応答を含むパネルディスカッションでは、NISA導入で想定される今後の資産運用のハウツーを含め、お話しいたします。			

【東京】日本橋		直前スペシャル！セゾン投信のNISAセミナー（活用編）		
★	9月7日(土) 13:30~16:45	東京駅前会議室 カンファレンス ルーム1	無料	中桐 啓貴氏(独立系FP 法人ガイア 代表取締役社長) 吉井 崇裕氏(独立系FP 法人ガイア ファンドアナリスト) 房前 督明氏(ファンドコンサルティングパートナーズ代表) 中野 晴啓 (セゾン投信社長)
	いよいよNISAの受付が2013年10月より一斉にスタートします。その前に、押さえておきたいNISA概要とポイント解説に加え、FP 法人ガイア様から中桐社長とファンドアナリストの吉井様をお招きして、具体例を基に、年代別、状況別のNISA活用法について、お二人のトークセッションでお伝えします。また社長中野からはセゾン投信の運用について、改めてお話しさせていただき盛りだくさんの内容を予定しています。			
北海道 【札幌】【帯広】		直販クラブ2013 『長期投資を徹底的に考える —長期投資家の挑戦—』		
★	【札幌】 9月14日(土) 13:30~16:00	札幌市民ホール 2F 第1会議室	参加費 無料	仲木 威雄氏(さわかみ投信取締役販売本部長) 岡 大 氏 (ありがとう投信 代表取締役CIO) 中野 晴啓 (セゾン投信社長)
	【帯広】 9月15日(日) 9:30~11:30	帯広商工会議所 研修室		
日本に「長期投資」の文化を根付かせるべく日々奮闘している3人が一同に会します。個人投資家向けの本格的な長期投資ファンドを運用する会社としては日本で最も歴史のある3社です。その3社を代表して仲木氏、岡氏、中野が皆さんと「長期投資」について徹底討論します！どうぞお楽しみに！！				

詳細・お申込みは、ホームページ「セミナー情報」をご覧ください

<http://www.saison-am.co.jp/seminar/seminar.html>

お電話でのお問合せ セゾン投信お客様窓口

03-3988-8668(9:00~17:00、土日祝・年末年始を除く)



社員が講師として参加するセミナーのスケジュール

【名古屋】		『経済成長の波に乗って資産を育てよう2013 PART2』 ～知っておきたいお金のお話・・・ライフプランと資産運用～		
★	8月25日(日) 14:30~16:30	名古屋駅 菱信ビル 410	参加費 2,000円	寶満 恵美子氏 (FP事務所ライフプラン・カウンセリング) 中野 晴啓 (セゾン投信社長)
	ライフプランを明確にして、それを実現するための資産運用の知識が自分の未来に責任を持つことへの第一歩へと繋がっていきます。失われた20年に日本に何が起こっていたのか、またこれからの日本は、世界は、私たちはどう自立していけばよいのかをお伝えしていきます。			
【福岡】		投資初心者の私にもできる！長期投資のイロハ		
★	10月5日(土) 17:00~19:00	TKP博多駅筑紫口会議室 カンファレンスルーム3	参加費 1,000円	中野 晴啓 (セゾン投信社長)
	「アベノミクス」に始まった2013年。そして、2014年から始まるNISA。変わりゆく時代の中で、私たちはどう対応していけばいいのでしょうか。変化に対応していくためには、投資の知識は不可欠になりました。そして今、投資について知っている人とそうでない人との差が広がっています。専門的な知識やセンスがなくても、誰でもできるのが長期投資！時代に合った長期投資について、じっくり学べます。			

セゾン投信からのお知らせ

【新刊】書籍のご紹介

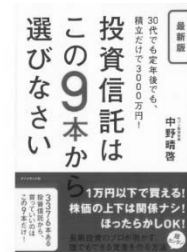
重版決定！

多すぎる投資信託のなかで、資産作りに向けた投信はたった 9 本。前著「投資信託はこの 8 本から選びなさい」の最新版です。前著から 2 年の間に投信の数は、750 本以上増えました。しかし、その中でおススメできる投資はまだまだ少なく、それを知っていただきたい、と社長中野が再び筆をとりました。

前著をお読みになった方にも、改めて投資信託を取り巻く市場の実態を知っていただけるよう、可能な限り最新の情報を更新し、資料として添付致しました。

お陰様で、既に重版いただくこととなりました。前著に続き、お手に取っていただければ幸いです。

本体価格 1,500 円



【 NISA(ニーサ)に関する「よくある質問」 】

<お取引に関する質問>

1	Q	NISA 口座内と他の口座の損益通算はできますか？
	A	NISA 口座の売買損益は、他の口座(特定/一般口座)との売買損益の通算はできません。
2	Q	年間 100 万円の投資枠を使い切らなかった場合、翌年以降に繰り越しは出来ますか？
	A	繰り越すことはできません。
3	Q	NISA 口座で取引を行った場合、確定申告の必要はありますか？
	A	確定申告の必要はありません。
4	Q	特定口座や一般口座に既に保有している投資信託や株式を NISA 口座に移管できますか？
	A	出来ません。NISA 口座では新たに購入した投資信託や上場株式等しか受け入れる事が出来ません。
5	Q	NISA 口座を開設してから非課税期間である 5 年が経過した場合、NISA 口座で保有する投資信託等はどうなりますか？
	A	非課税期間 5 年が経過した場合、一旦、非課税での運用が終了しますが、特定口座、一般口座に移すことや、100 万円を上限に翌年の非課税枠に時価で持ち越すことが可能です。
6	Q	NISA 口座で運用している資産の一部を売却した場合、枠の再利用は出来ますか？
	A	NISA 口座では、年間累積購入金額が 100 万円を超えない範囲で新たな買い付けを行う事が出来る制度です。従って、売却による空枠を「再利用」することは出来ません。

【買付・解約 受付不可日のお知らせ】(2013 年 8 月 5 日～10 月末日)

下記は 2013 年 8 月 5 日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

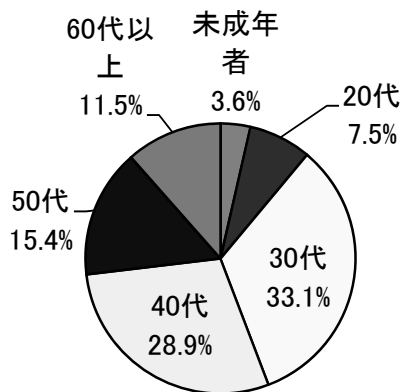
セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	8 月 5 日(月)、9 月 2 日(月)、10 月 28 日(月)
セゾン資産形成の達人ファンド	8 月 5 日(月)、8 月 26 日(月)、 9 月 2 日(月)10 月 28 日(月)

上記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

お客さまデータ

セゾン投信 会員数 59,606 口座
(2013年7月31日現在)

年代別比率



※2013年7月31日現在

【メディア掲載情報】

<http://www.saison-am.co.jp/company/media.html>

●読売新聞 7月15日付:

【七転八起】「コソコソ7年積立王子」で社長中野が紹介されました。 <http://p.tl/-MAq>

●金融経済新聞 7月15日付:

【喜怒哀楽】「長期投資とアクティブファンド」運用部ポートフォリオマネージャ瀬下氏の原稿が掲載されました。

<http://p.tl/vewF>

●東洋経済オンライン

<中国バブルは、いよいよ崩壊するのか;第7回>

7月11日:「シャドーバンキング問題の深刻度は?日本への影響は?」<http://p.tl/SJJV>

<安倍首相、増税しても成長できる秘策教えます;第8回>

7月26日:「消費増税先延ばしなら、『5.23ショック』再来」
<http://p.tl/J-2Q>

●週刊エコノミスト 臨時増刊 8月12日号

7月29日:「大予測・株&景気」の独立系ファンドの投資戦略で社長中野のインタビューが掲載されました。

セゾン投信の素顔

「川の魅力」

先日、念願だったキャニオニングを体験しました。キャニオニングはロープや体一つで溪谷を下るフランス発祥のスポーツです。山深い川の中は、連日の猛暑を忘れるほど涼しく快適でした。崖から飛び降りたり滝のスライダーに流されたり、普段味わえないスリルを楽しむ反面、自然のありがたさに気付いたひとときでした。

近年、肌の焼ける海水浴はあまり流行らないとのこと。この夏は、涼しい中で色んな楽しみ方ができる川のスポーツを楽しむ予定です。

顧客サービス部 山崎 結衣

「夏野菜」

毎年この時期になると我が家の狭い庭先で、不揃いな胡瓜、トマト、茄子を収穫します。今年もそれぞれ2本ずつの苗から、ほぼ手間をかけずに無農薬で、収穫出来ました。ただし、毎年この時期に美味しくいただくために、収穫を終えた後の初冬に庭土を掘り起し、新しい土と追肥を入れて、雑草を片付けては春先まで放置して、苗を植えます。数も大きさも形も店頭に並べるような代物ではありませんが、収穫から食卓まで直行の新鮮野菜です、笑。胡瓜とトマトはそのまま生で、茄子とトマトは素焼きをし、オリーブオイルと醤油でいただきます。わずかな収穫の喜びと、ちょっと大切なことを感じる季節です。

営業部 杉本 優子

編集後記 暑中お見舞い申し上げます

巷では、NISA(少額投資非課税制度)の話題、広告を多く見かけるようになってきました。しかしながら、テレビ・新聞、マネー雑誌等では、なかなか具体的なメリット、デメリットが判りにくく、「だからどうなの?」といった点を今月も先月に続き、本冊子にてご案内しております。尚、NISAのためのセミナーも逐次、開催いたしますが、早い段階で満員になってしまうこともございます。是非HPからもご覧いただき、お申込みいただければ幸いです。今月号では、編集の都合【セゾン投信からのお知らせ】の頁に記載しております。どうぞ今月もセゾン投信の活動にご注目ください。

セゾン投信、Facebook「いいね!」受付中。

<http://www.facebook.com/saisonam>

